

市議会だより

第81号

R元.11.15 発行

発行：飯山市議会

編集：議会だより編集委員会

TEL：0269-62-3111

FAX：0269-62-0005

HP <http://www.city.iiyama.nagano.jp/soshiki/gikai/>

E-mail gikai@city.iiyama.nagano.jp

台風19号災害について

この度の台風19号によって全国各地に大きな被害が発生、とりわけ県内東北信地域は、甚大な被害に見舞われ、当市においても市街地を中心に浸水被害が発生しました。

この災害により、被害に遭われた市民の皆様方に心よりお見舞いを申し上げます。

今回の災害に関し、災害時相互応援協定締結市をはじめ近隣や県内各自治体、鳥取県や三重県などのほか多くの災害ボランティアの方や、関係機関のご支援をいただきましたことに対し、感謝と御礼を申し上げます。

11月4日に災害応援協定を結んでいる東京都分寺市および山梨県山梨市へ足立市長とともに伺い、災害時相互応援協定に基づき職員を

派遣いただいたことに対する御礼を申し上げます。

その際、山梨市の武井議長より平成26年2月豪雪時の応援に対する御礼と、今回の被災へのお見舞いの言葉と全議員の方からの災害見舞を頂戴しました。

災害時の議会の対応について意見交換を行う中で、飯山市議会においても議会災害対策会議の検討を始めの必要性があると感じました。



山梨市武井議長よりお見舞いの言葉と山梨市議会議員全員の皆様からの災害見舞を頂戴いたしました (11/4)



全員協議会の様子 (10/17)

飯山市は現在、災害時応援協定を富山県魚津市と山形県長井市とも締結しており、両市からも職員を派遣をいただき災害時応援協定締結市の重要性を強く感じました。

議会では10月17日に議員全員協議会（全協）を開き、被災状況と復旧への対応について理事者から説明を受けて、緊急を要す対応については、専決処分で適時適切に行うよう申し入れをしました。

その後、市長より10月28日の全協において、専決処分事項の具体案が示され質疑を行いました。12月議会前にさらに全協を開催し、緊急を要する被災者への対応のため、理事者と協議を重ねていく予定であります。

議長 渋川 芳二

9月定例会 一般質問

9月10日～12日の3日間には、12名の議員から市政に対する一般質問が行われました。質問の一部を抜粋して掲載となり、内容につきましては各議員において編集しております。

掲載の順番は質問順です。



市政の現状と課題について



山崎一郎議員

問 地域の賑わい創出にとつて極めて重要な、新幹線駅前ホテル誘致が進んでいないが今後の進め方と取組みは。

答 一番の課題は稼働率の問題で冬期間は見込めるがグリーンシーズンが厳しいため、建物の複合利用や市が一部を公共的に借り上げる等、利用形態の検討が必要な現状だ。

問 石川県小松市の駅前市が所有する土地に、ホテルや子育て支援施設や公立大学まで入居する複合施設があり、取組みから10年を要したが地域に果たす役割の大きい施設を過日視察して来た。飯山の参考になるので調査すべきだ。

答 政策実現のためには事業手法の改革が必要と考えている。プロジェクトチームを立ち上げたので早急に現地視察を実施し検討して参りたい。

駅前ホテル誘致、小学校再編



松本淳一議員

問 駅前ホテル誘致の現状は。業者側から経営的に厳しいとあるが、建設に向けて協議をしている。ホテルをつくるため、新しい枠組を取り入れて複合施設とする可能性も検討していく。

答 ホテルは市有地を借地することになるが、借地の場合の保証金はどうか。

問 駅前ホテル誘致の現状は。業者側から経営的に厳しいとあるが、建設に向けて協議をしている。ホテルをつくるため、新しい枠組を取り入れて複合施設とする可能性も検討していく。

答 ホテルは市有地を借地することになるが、借地の場合の保証金はどうか。

問 駅前ホテル誘致の現状は。業者側から経営的に厳しいとあるが、建設に向けて協議をしている。ホテルをつくるため、新しい枠組を取り入れて複合施設とする可能性も検討していく。

市営球場の芝生化と旧三申体育館のLED化



飯田健一議員

問 芝生の公式戦球場が地域にあれば各種大会、練習試合で人が集まり野球のまちとして活性化すると思う。飯山高校甲子園出場を機に、市長の公約にもある市営球場を芝生化に合わせて公式戦球場を整備してもらいたい。

答 公式戦球場については、球場自体の広さ等その条件を満たしているが、観客席等の付帯設備改修など大きな課題がある。市営球場の芝生化については、他からの要望もあるので経費等を含め、研究をしていきたい。

問 旧三申の体育館は照明が暗く、薄暗い体育館で生徒らが一生懸命練習している。先ごろ切れているランプを市で取り換えてもらったが、まだ十分ではない。メーカーに問い合わせたところ、ランプ交換だけでも大分明るくなり、機種によっては安定器とランプの交換でLED化できると聞いている。先ずはその調査をしてもらいたい。

答 LED化は今後の課題。コストを含め研究をしていきたい。

文化財行政と地域振興



高山恒夫議員

問 文化財保護法が改正された。受け止め方は。

答 保護最優先から保存と活用との両立への大転換と捉えている。

問 公文書館など公共施設総合管理計画で議論が必要では。現ふるさと館規模では取納ができない。行政文書も含めてアーカイブの設立を考えていく時期ではないか。

問 小菅文化的景観地区の電柱は地中化すべきでは。

学校職員の働き方改革と後期高齢者医療制度



小林喜美治議員

問 学校職員の長時間労働が問題となっているが、その実態について、なぜ長時間労働が発生するのか、学力テスト、英語教科の導入なども問題と指摘されているが飯山市の現状は。

答 平成30年度小・中学校4、5月の月平均の残業の状況は全体で64時間、小学校56時間、中学校81時間となっております。

問 改善のための飯山市の取り組みと、改正労働安全法の施行にともなう検討状況と待遇改善の取り組みについて。

答 飯山市としては加配教員を20数名現場に配置し、業務改善の大きな方針も掲げ、具体的改善もこの間進めている。タイムカードも導入した。

子育て環境の充実・ふるさと納税について



吉越利明議員

10月からの幼児教育無償化によって保育を希望する方が増える想定ですが、保育士数は現状で対応できるのか

国が改定となり、前年比で6200万程の収入減となっている。引き続き情報発信や、企業版納税制度活用、準備を進めていきたい。

防災のあり方について

全国各地で様々な自然災害が発生する中、現状の飯山市総合防災訓練は実のある訓練になっているのか。

各集落での訓練もこれからは大切だと感じている。集落への指導等、区長会を含め検討していきたい。

ワーケーションについて

今後の展望は、モニターツアーを実施し調査研究を進めていきたい。

外国人移住者の対応について



岸田眞紀議員

外国人移住者が増えているのだが、どんな状況か。

今年の8月現在20ヶ国232人で、地区別では飯山81人、秋津29人、木島29人、瑞穂7人、柳原3人、外様4人、常盤50人、太田16人、岡山13人となっている。

転入受付時に区という自治会組織があり、区長というまとめ役があるので連絡するよう指導しているのか。

そのような対応はしていない現状なので、今後区長会協議会の意見をお聞きし検討して参りたい。

飯山地区の区長会の時にゴミ置き場に収集されないゴミが出され、区長が出し主を探した結果、外国人だったという事例報告があったが、転入窓口ではどんな説明をされているのか。

窓口に見えた時に英語版や中国語版の資料を渡したり、場合によってはタブレット等も使い説明している。今後は地域の区とか隣組等とのつながりについても説明を検討して参りたい。

外国人観光客対策と空き家問題について



西澤一彦議員

信越自然郷における各自治体の観光連携の状況は。

飯山周辺の9市町村で、点ではなく面で広域観光の信越自然郷のブランドづくりとインバウンド対策を進めていく。

具体策としてどのようなプランを立て進めているのか。

地域おこし企業人交流事業として大手旅行業者から派遣を受け、旅行商品の企画や発信、集客をしている。6泊7日の各自自治体を回るコースでは7コース23本催行され、435人参加で2045人泊。広域の商品としては全国1位。

空き家問題に対する市の考えは。

空き家等対策計画を策定した。計画に基づき空き家の発生予防、適正管理、利活用の推進を図るとともに、放置されたまま老朽化し、深刻な影響を及ぼす空き家等を特定空き家と認定し処置を講ずる。

保育園・なちゅら・森林・豚コシラを聞く



佐藤正夫議員

保育料無償化に伴い、県下19市で唯一副食費無料化したが、3歳未満児の副食費も無料にできないか。

入園している未満児としていない未満児とで不公平になる。多くの未満児が入園をすると保育士の確保が難しい。

「なちゅら」の外壁の塗装やホールの時計、自販機の位置の問題等市が主体性を持ち、設計事務所への気兼ねより利用者の利便を第一に考えるべき。

建設時の考え方と、設計者の意向があるので現状で進めるが、利便性も考えていきたい。

今年度から森林譲与税が配分されるが事業予定は。

まず意識調査と山林の境界調査をする。豚コレラが拡散している。事業者の防御ネットの経費は行政が負担すべきと思うが。県が2分の1、残りは農家負担をこれは市で負担していきたい。補正予算で対応する。

平成30年度決算について



渡辺美智子議員

高齢者（高齢化率37.9%）約8,000人、障がい者（手帳保持者3障がい）1,500人合わせ9,500人で人口比率が高い状況であるが扶助費が減少している理由は。

高齢者等の数は横這い。臨時福祉給付金がなくなったことや生活保護の医療扶助が減少。状況を聞き必要なサービスを提供するよう努める。

30年度決算では、健全財政となっている。そのうえ実質収支比率が高い事。基金も充分あることを踏まえタクシー券の支給対象者の拡大を求める。

高齢者の移動については懇談会でも良く出る。当事者団体の皆さんの意見を聞き、今後の課題として考えていく。

男女共同参画は当初予算に対して決算額49%。これはどうしてか。また以前行われた女性団体と市長の懇談はどうなっているか。

講座等啓発事業の日数が少なかった。市長との懇談は要望があればいつでもやる。就学援助制度について、対象世帯の拡大が出来ないか。他市をみて課題とする。

地域医療体制の重要性について



水野正彦議員

私は2月に急な病で倒れ地域医療機関の重要性を強く感じた。特に救急医療体制の大切さが身にしみだが、市が地域医療機関と連携し、医師確保等に力を入れ取り組んでいる現状をお聞きしたい。

地域の中核医療施設である日赤病院では、医師が5名増え28名体制となり、また医師2名体制の救急科開設によって、救急患者の受け入れが30年度には2600名も増え、地域の安心安全の充実に図られている。また、市では現在6名の医学生に奨学金を貸与し、将来の医師確保の支援を実施している。

バリアフリー化等の実態

今まで無関心でいたバリアフリー化の大切さと障がい者でも外に出歩けるマップの必要性を感じる身になった。市の取組みをお聞きしたい。

県の福祉のまちづくり条例や、交通バリアフリー法等によって改善が図られてきている現実だが、さらに改善に取り組むたい。マップについては今後関係者のご意見をお聞きし検討して参りたい。

提言「飯山市未来会議の創設」



市川久芳議員

未来を考えなくしてよいのか

少子化対策も含め、人口一万五千人、一万人になってもこの地域で生活するには何をすべきか行政・議会・市民とで真剣に考える「崖っぷち」にあると思うが会議を立ち上げる気があるのか。

考えないとは言っていないが今までさまざまな会議を設けてきた。会議が総論では限界がある。提案のみで傍観的な会議であってはならないと考えている。飯山塾とか他にもあり、その中で当市の未来を考えていきたいと考えている市長として未来を考えていない訳ではない。

水門設置の調査について

木島地区を水害から守るには、千曲川と樽川との合流権災点付近へ逆流を防止する水門設置が不可欠と考え木島平村長とも会っている。ぜひ、建設に向けての調査費を関係する行政機関へ要望できないか。

千曲川と樽川の合流点処理は、千曲川本線のバックウォーターの影響が生じる区間について考慮した計画どおりの築堤が整備されている。

議会活性化特別委員会

10月2日に第4回議会あり方分科会を開催し、第3回までの協議で実施に向け検討することとした5項目について次のとおり協議した。

- ①本会議における質疑について
②議員協議会のあり方について
③予算・決算委員会と他の常任委員会の兼合いについて

議会のあり方分科会

議会方式にしてきたが、議論を活発するため見直しの必要性があるので、さらに検討することとした。

- ④議員間討議について
⑤その他



予算決算常任委員会の様子

議会を傍聴しませんか!!

市政を知る良い機会です。議会傍聴にお出かけください。議場は市役所5階です。傍聴席入口からお入りください。本会議はiネットでも放映しています。過去の会議録は市議会ホームページから検索できます。

令和元年12月定例会 会期日程(予定)
招集・議案上程 12月3日(火)
一般質問 11日(水)
各常任委員会審査 16日(月)
委員長報告・採決 17日(火)
20日(金)